

生命（いのち）の安全教育 動画を使用した授業展開例

中学校「大切な心と体を守るために」

	主な学習内容	指導上の留意点・支援
導入	1. 本時の内容を知る。	* 本時の目標を理解させる。
展開	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     よりよい人間関係ってなんだろう？                 </div> 2. お互いに心と体を尊重するための体の距離感と心の距離感について理解する。	* 心と体を尊重するための距離感について具体的に理解するために動画を視聴する。  * 心地よい距離は人によって違うこと、それぞれの距離感があることを理解することが大切であることを、動画を視聴し理解させる。  【ワーク】相手と接するとき自分が心地よいと感じる距離感はどのくらいなのか、家族、友達、知らない人などのパターンで考えさせる。  * 心地よくいられる心理的、あるいは心の距離の感じ方は人によって異なることを理解するために動画を視聴する。  ○お互いの気持ちを大切にすることを理解させる。 【ワーク】距離感が守られないときの対処方法「いやだという」、「距離を置く」、「信頼できる大人に相談する」をロールプレイングで実践させる。

<b>性的な暴力とは？</b>	
<p>3. 映像から、具体的に体に触る性暴力（自分が望まない行為）とはどのような行為か理解する （参考）体を押し付ける、髪や肩に触れる</p> <p>4. 映像から、具体的に体に触らない性暴力とはどのような行為か理解する。 （参考）盗撮、卑猥な言葉を言われる ①男女関係なく被害に遭う ②被害者は悪くない ③親しい仲にでも起こる</p> <p>5. 性暴力の例【デートDV】とはどのような行為か、具体的に理解する。</p>	<p>* 男女関係なく性暴力の被害に遭うことや、被害者は悪くないこと、親しい中でも起こることなどについて、動画を通し理解させる。</p> <p>【ワーク】動画の事例から、デートDVの4つの行為（①身体的暴力、②精神的暴力、③性的暴力、④経済的暴力）がなぜ性暴力なのか、ワークシートなどを用い考えさせる。こうした行為に対し、どうすれば防ぐことができるか考えさせる。</p>
<p>実写事例1 デートDV</p>	<p>* 実写事例を映像で見ることで、性暴力が身近にあること、自分が加害者、被害者になるおそれがあることを理解させる。</p>
<p>実写事例2 SNSで巻き込まれる性暴力（下着の写真を送ってしまう）</p>	<p>* SNSで巻き込まれる性暴力に対し、どうすれば防ぐことができるか考えさせる。</p>
<b>もし性的な暴力の被害に遭うと起こること、なぜ起こるか、どのようにしたら防げる</b>	
<p>6. 性暴力の被害に遭うと起こることを理解する。</p> <p>7. 性暴力はどのようにして起こるのかを理解する。</p>	<p>* 動画を視聴し、①自分を大切にする、②相手を大切にする、③暴力をゆるさない、④SNSのやり取りで下着姿や裸の写真を送らないことを理解させる。</p> <p>【ワーク】ワークシートなどを用い、どのような関係で性暴力が起こりやすいかを考えさせる。</p> <p>【ワーク】性暴力の被害に遭った時に、①心にかかること、②体に起こることをワークシートなどを用い考えさせる。</p> <p>* 動画から、SNSで裸の写真を送らせたり投稿することは犯罪であることを理解させる。拡散しない、大人に報告することを確認させる。</p> <p>【ワーク】SNSによる事件発生数や、どのような投稿が被害に遭いやすいかを調べさせる。自分の写真だけでなく、心の悩みなどの投</p>

	<p><b>8. 性暴力が起きないようにするためにどのようにすればよいか考え、発表する。</b></p>	<p>稿をすることによって「悩みを聞いてあげるよ」と近寄られ、それが被害につながることもあることなどを伝える。</p>
<p>まとめ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p><b>もし性的な暴力の被害にあったら</b></p> </div> <p><b>9. 直接的な被害の場合</b>  断る→逃げる→大人に相談  悪いのは加害者であり、被害者（あなた）は悪くないことを理解する。</p> <p><b>10. 友達が性暴力の被害にあったら</b>  自分たちだけで解決しようとせず大人に助けを求めることを知る。</p> <p><b>11. 友達が性暴力の加害行為を行っているとき</b>  気づいたときにどうすればよいか知る。  信頼できる大人に相談する、専門の機関に相談することができることを知る。</p>	<p>*被害に遭った時には、自分たちだけで解決しようとせず、相談できる専門機関があること、養護教諭などに相談するよう助言する。</p> <p>【ワーク】他にどのような専門の相談機関あるか、自治体のHPなどから調べさせる。</p>